

価値創造プロセス

私たち長谷工グループは、長期的な視点に立ち、暮らしを取り巻く社会課題を事業を通じて解決していくことを目指しています。グループ連携を深化させ、都市居住者の信頼に応える企業体を実現していきます。

事業を通じた社会課題の解決

長谷工グループ長期ビジョン ~2030年3月期に目指す姿~

中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」



価値創造 基盤の強化

事業の 拡大

資本増大

DX+新事業分野への挑戦
さらなる飛躍へ！

インプット

人的資本

- 連結従業員数 **7,511人**
- 資格取得者数 延べ**7,781人**
宅建・一級建築士・
施工管理士・
管理業務主任者

知的資本

- 土地持込による特命受注
- 国内1位のマンション累計
施工実績に培われた
施工ノウハウ
- プレゼンテーションスペース
LIPS
- 長谷工テクニカルセンター

社会関係資本

- 長谷工グループ
サプライチェーン
「四位一体体制」
- 不動産情報ネットワーク
- プレミアムアフターサービス
累積 **112,616 戸***

自然資本

- エネルギー使用量
電力……………19,298kwh
軽油…………… 11,759 kℓ
灯油・重油 ……76 kℓ
水……………685千㎡

財務資本

- 総資産……………1兆1,981億円
- 自己資本……………4,541億円
- 有利子負債 …… 3,915億円

(数値: 2022年度)
*2023年3月末時点

価値創造プロセス P.18 ▶

アウトプット

建設関連事業

- 年間施工戸数 **12,633戸**
(累積施工戸数 695,800 戸*)

事業戦略 P.30~31 ▶

不動産関連事業

- 分譲戸数 **1,410戸**

事業戦略 P.32~33 ▶

サービス関連事業

- 分譲マンション
管理戸数 **427,900戸***
- 賃貸マンション
管理戸数 **181,262戸***
- 大規模修繕・リフォーム
受注高 **468億円**
- 分譲マンション
販売受託戸数 **8,026戸**
- 流通仲介件数 **2,160件**
- シニア施設
運営戸数 **2,759戸**

事業戦略 P.34~35 ▶

海外関連事業

事業戦略 P.36~37 ▶

(数値: 2022年度)
*2023年3月末時点

アウトカム

人的資本

- 新卒採用における女性比率…35.8%
- 女性管理職比率 ……9.8%
- 育児休暇取得率(男性) ……40.7%
- ホワイト500取得
- 外国人人材活用の推進
- 教育プラン
(ビジネスカレッジ、DXアカデミー)

知的資本

- BIM&LIMプラットフォームにおける
住まい情報・暮らし情報のデータの
蓄積
- 協力会社と連携した効率的な
施工方法の開発、生産性の向上

社会関係資本

- ZEHマンション・ZEH戸建て
- 災害に強いマンションの提案
- 防災3点セット
スマートウォータータンクの採用
- マンション再生による新しい価値創造
(建て替え・再開発・大規模修繕)
- アウル24センター
警報受信(対応)件数 ……49,438件

自然資本

- 木造建築件数
……………436棟(うち戸建以外15棟)
- ABINC認証取得件数 ……1件

財務資本(連結)

- 経常利益……………883億円
- 当期純利益……………593億円
- ROE……………13.6%
- 配当性向……………37.0%

(数値: 2022年度)



1 人的資本

グループ連結従業員数	7,511人
資格取得数	7,781人
一級建築士	932人
1級建築施工管理技士	1,384人
2級建築施工管理技士	848人
管理業務主任者	1,114人
宅地建物取引士	3,503人

人的資産への投資・活用を通して、企業価値の更なる向上を目指すという理念のもと、グループの新境地を切り拓いていく自律型の人材・組織づくりを追求するとともに当社独自の働き方改革・ダイバーシティの進化を目指しています。

2 知的資本

- 当社の強みである土地持ち込みによる特命受注方式は、一般的なゼネコンの受注方式とは一線を画し、優位性の高いビジネスモデルとなっております。
- 長きにわたって人々の暮らしを支える生活基盤である「マンション」を作り続け、施工累計は69万戸を超えました。国内1位のマンション施工実績に培われた施工ノウハウで高い施工品質が確保されています。
- LIPSは、実物見本を「見て」「触れる」ことによって商品や部材の選定をスピーディーかつ確実に行うプレゼンテーションルームです。外装材、建築金物、鋼製建具、内装材、設備機器など約70メーカーの商品を常時展示しています。企画設計・仕様設定などの具体的な提案、新技術、新商品の発信等の拠点として有効に活用しています。
- 長谷エテクニカルセンターは、2018年3月、長谷エグループの創業80周年記念事業の一環として竣工しました。グループの技術関連機能である「長谷エ技術研究所」「長谷エグ

ループ技術研修センター」「長谷エコミュニティアウル24センター」を集約し、さらに「長谷エマンションミュージアム」を併設しました。実際にお住まいの方の目線に立った安全・安心・快適に住まうための研究・技術開発を行うとともに、広くマンション事業主や行政、管理組合などのお客様に向けて、新技術・新商品・技術検証などの情報を発信しています。

3 社会関係資本

約300社の主力協力会社からなる組織「建栄会」と当社の「建設部門」「設計部門」「技術推進部門」は四位一体の体制で品質向上活動に取り組んでいます。当社と建栄会は四半世紀にわたる強い信頼関係で結ばれており、この「四位一体」の品質管理体制が他社では見られない強みとなっています。

4 自然資本

自然資本の消費を抑えた事業活動を目指して、長谷エコーポレーションの建設現場において使用電力の100%再生可能エネルギー化を2023年5月末に完了いたしました。

5 財務資本

総資産	1兆1,981億円
自己資本	4,541億円

NS計画の重点戦略と位置付けたコア事業の競争力の強化や不動産関連事業の投資拡大、将来の成長に向けた取り組みについて、成長戦略投資を実施してまいります。また、強固な財務基盤を維持しつつ株主還元の拡充を図り、資本効率性をより意識した経営に努め、持続可能な企業グループとして発展を続けてまいります。